

教科	家庭	学年	第 3 学年
----	----	----	--------

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			思考・判断・表現	知識・技能	主体的に学習に取り組む態度
幼児の生活と幼児とのかかわり	3	幼児の生活について、課題をもって、幼児の発達と生活、幼児との関わり方に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、それを支える家族の役割や遊びの意義について理解し、幼児との関わり方を工夫することができるようにする。	幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・ 幼児の発達と生活の特徴が分かり、子供が育つ環境としての家族の役割について理解している。 ・ 幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解している。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、幼児の生活と家族について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
家庭生活と地域のかかわり	3	家族・家庭や地域との関わりについて、課題をもって、家族の立場や役割、家庭生活と地域との関わりについて理解し、家族関係や高齢者との関わり方に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法を考え、工夫することができるようにする。	家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・ 家族の互いの立場や役割が分かり、協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。 ・ 家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることが分かり、高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方について理解している。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族・家庭や地域との関わりについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

日常食の調理	5	食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解し、適切にできること。 材料に適した加熱調理の仕方について理解し、基礎的な日常食の調理が適切にできること。 地域の食文化について理解し、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできること。日常の1食分の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、工夫すること。	日常の1食分の調理における調理の仕方、調理計画について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。 ・材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 ・地域の食文化について理解しているととともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、日常食の調理と地域の食文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
作品制作	7	生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題をもって、製作する物に適した材料や縫い方、用具の安全な取扱いに関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、資源や環境に配慮して製作計画を考え、製作を工夫することができるようになる	資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。	よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。